

中国の新石器遺跡における稲作と気候変化の関係

権田 拓弥

北海道大学 大学院環境科学学院



未来社会のあるべきかたち

- ◆ 農業の歴史と気候の歴史を知る。
- ◆ 環境科学や歴史をきっかけに、農業に支えられていることを認識する。

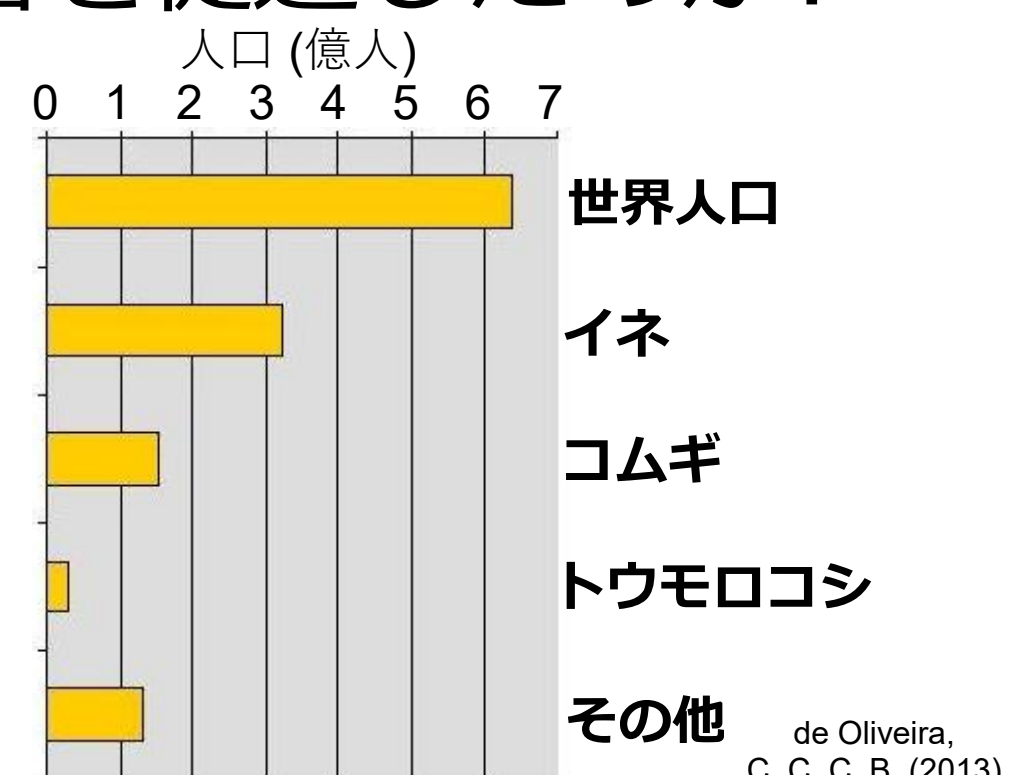
現代社会は農業に支えられている。

狩猟採集から作物栽培が始まったのはどうしてだろうか。

- 利用できる資源が減少し、食糧を生産する必要があったのか？その原因は、人口増加なのか、気候悪化なのか？
- 気候が作物の生育に適していて、栽培を促進したのか？

イネは世界人口の約半分を支えている。

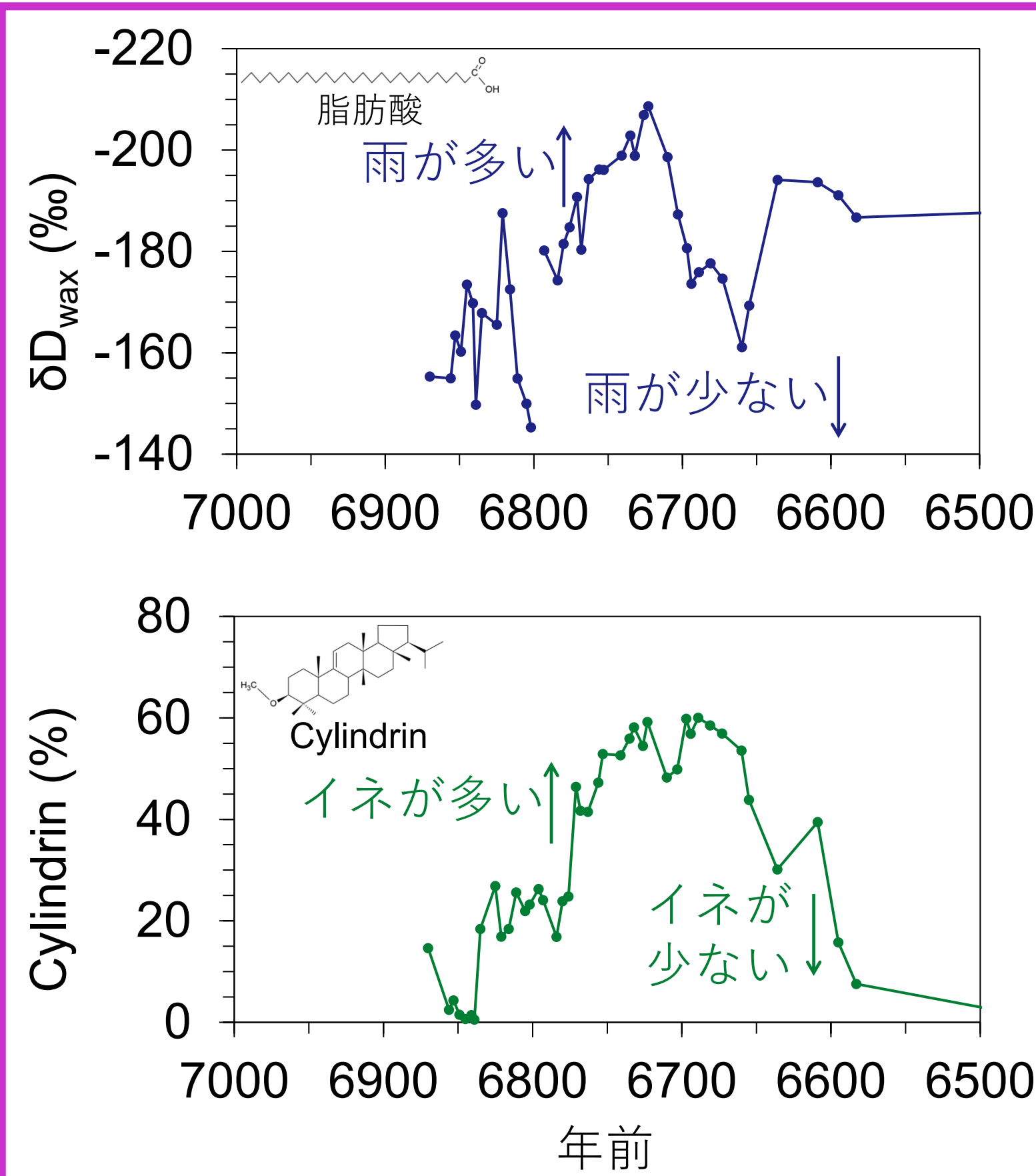
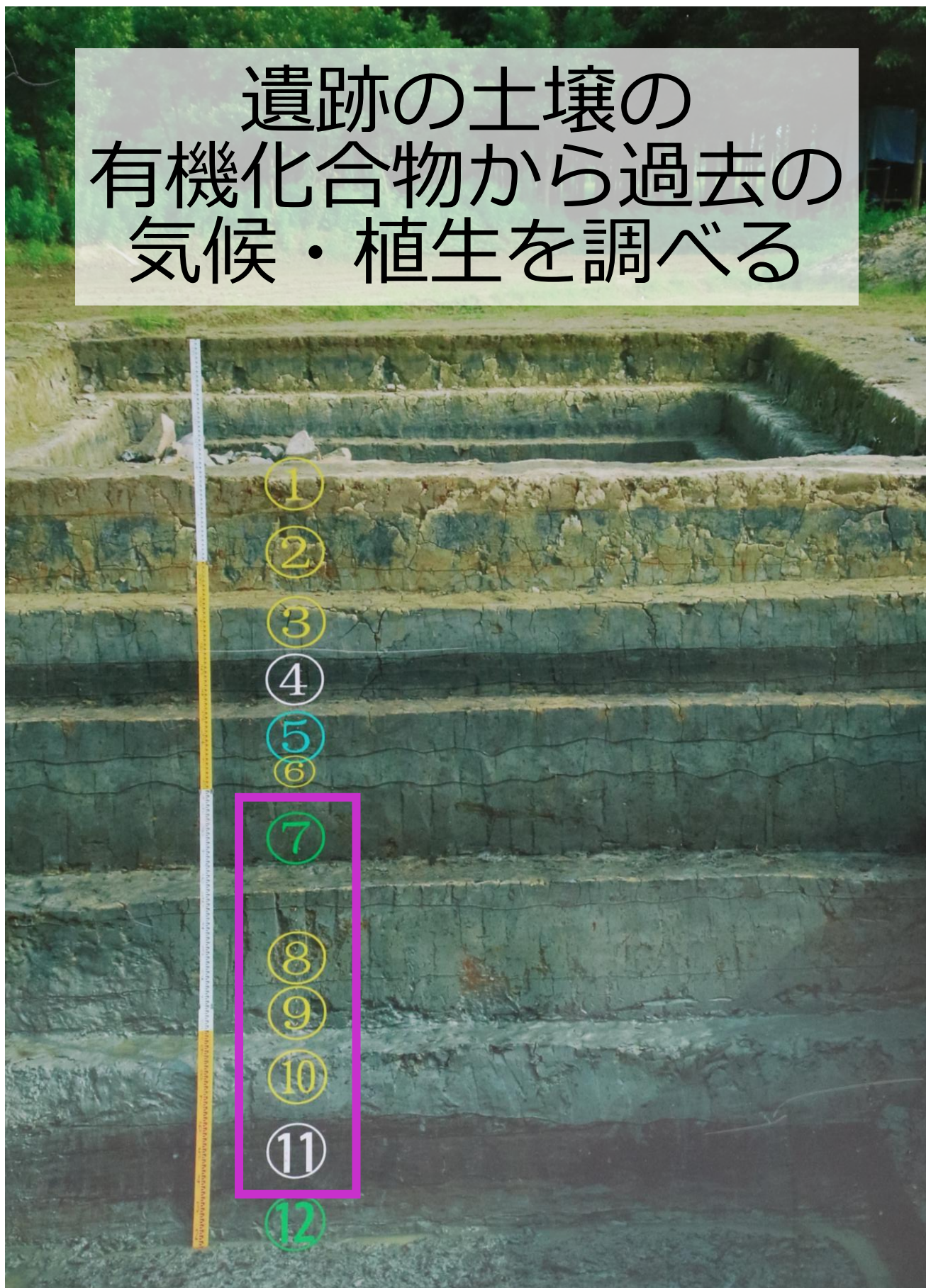
稲作が始まった理由の仮説として、人口増加や環境変化が推定されているが、具体的には明らかになっていない。



研究地域



研究内容



降水量が多くなると稲作が活発になった。

降水量が減少すると稲作が縮小した。

稲作が気候の影響を受けていた可能性があった。